





八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」 (ブログ)

大阪府八尾市の魅力ある市民活動情報をブログ形式で発信しています！
ぜひぜひご覧下さい(^_^)!

goo blog お知らせ

-  【ギフトにも最適】安曇野りんごジャム3点セット
-  まるでスイーツ！完熟ねっとり安納芋2kg1,780円
-  訪問者数に応じてdポイント最大1,000pt当たる！
-  蜜たっぷり！超熟成紅はるか3kg2,500円

プロフィール



フォローする

自己紹介

八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」は、大阪府八尾市内で市民活動（NPO）に携わっておられる方&これから携わりたい方を支援するためのセンターです。
(yao-tsudoi.ecnet.jp)



ログイン

 編集画面にログイン

ブログの新規登録

goo blog おすすめ

 おすすめブログ

 @goo_blog

「和ろうそくは、つなぐ」お話し会 【その2】

2023-01-11 17:50:58 | 取材記録 (2021~2024年度)

こんにちは。

つどい業務責任者の新福です。

さて、さて、和ろうそくのお話の続きです。

振返り

和ろうそくは、蠟と芯の軸である和紙と灯芯（とうしん）と真綿で出来ています。

前回は、主に蠟のお話とそれに関連して、藍の発酵での蠟カスの利活用と、それに関連してむしろと小鹿田焼（おんたやき）のうわぐすりにつながるお話をしました。

まあ、つながる・つながるの連続でしたね(*^_^*)

今回は、和紙から出発してお話をまとめます。

和紙が和ろうそくの芯の軸になるまでの旅

カレンダー

2023年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

前月

次月

最新記事

ご案内：【2/24（金）開催】ウクライナ支援コンサート「ウクライナに平和を」

【ご案内】：木のぬくもりを感じよう。Let's DIY どうぞのいす

2/12(日)ゼロエネルギー住宅の内覧と電気自動車を見学しよう！

ご案内：【創作舞踊 翔の会】

【ホームページ制作講座】にお邪魔させて頂きました～！

Happy jaja Christmas Concert 2022 in プリズムホール

【1/29（日）開催】河内音頭の基本の踊り【河内銀友会】

【毎月第4土曜日】茶吉庵にてやまねきおはなし会が開催されます♪

「和ろうそくは、つなぐ」お話し会【その2】

「和ろうそくは、つなぐ」お話し会【その1】

>> もっと見る

カテゴリー

市民活動情報（行事案内・開催等）【2021年度～】(44)

校区まちづくり協議会 取材・連携(6)

団体からの投稿・寄稿(8)

取材記録（2021～2024年度）(44)

「つどい」の主催行事とお知らせ(247)

新型コロナウイルス感染症関連（臨時）(5)

地域活動団体情報(57)

連携後の追っかけ記事(0)

八尾市関係（行事案内）(113)

芯の軸になるまで



和紙の原料は、ミツマタを使用します。

岡山県美作氏のミツマタ農家さんがいらっしゃいます。

和紙になるまでの過程は、上の図の通りです。

釜でミツマタの皮を茹でる際にアクを取るため石灰を入れます。木灰だと色がつくため、石灰を入れます。

ちなみに、お札にもミツマタが入っているそうです。ミツマタは繊維が細かく短いのが特徴です。

収穫時にミツマタに傷がつくと、和紙にする際にも傷がのこってしまうそうです。

さて、大西さんがすごいのは、和紙を漉く際の「簾（す）」はどこから？という疑問を原点に探し求める点です。

で、見つけられました。その原点。

和紙を漉く「簾」は真竹と絹糸で出来ている



お話し会の際に投影されていたお写真です。ひごを作っている様子です。

[大阪府の市民活動情報\(12\)](#)

[助成金情報\(122\)](#)

[事業者等の社会貢献活動\(27\)](#)

[スタッフのひとりごと \(2021年度～\) \(9\)](#)

[NPO法人向け情報\(8\)](#)

[【アーカイブ】スタッフのひとりごと \(2012～2020年度\) \(105\)](#)

[【アーカイブ】スタッフ紹介\(7\)](#)

[【アーカイブ】つどいがきっかけ \(2016～2020年度\) \(7\)](#)

[【アーカイブ】市民活動情報 \(行事案内・開催等\) \(479\)](#)

[【アーカイブ】取材記録 \(2012～2020年度\) \(207\)](#)

[【アーカイブ】「ニュースつどい」 \(57\)](#)

[【アーカイブ】市民活動関連情報 \(地方新聞\) \(97\)](#)

[【アーカイブ】「つどい」環境配慮の取組み\(20\)](#)

最新コメント

[センター「つどい」/まちかどプリズム～人形劇を楽しもう！～ \(8/28\)](#)

[センター「つどい」/「アートやっちゃんお！」いよいよ11日\(日\)開催です！](#)

[センター「つどい」/まちおこしYAOライブ in 太陽の広場ふれあいまつり2013](#)

[センター「つどい」/World Seed えんがわで「ダブルスマイルサンタ」をPR！！ \(12/14\)](#)

[センター「つどい」/八尾市と五條市 \(柿のクリスマスプレゼント\) 12/12](#)

[センター「つどい」/ご案内：「大山寛人講演会」](#)

[センター「つどい」/「えんがわ」で一緒にお昼ご飯を食べませんか](#)

バックナンバー

[2023年02月](#)

[2023年01月](#)

[2022年12月](#)

[2022年11月](#)

ブックマーク

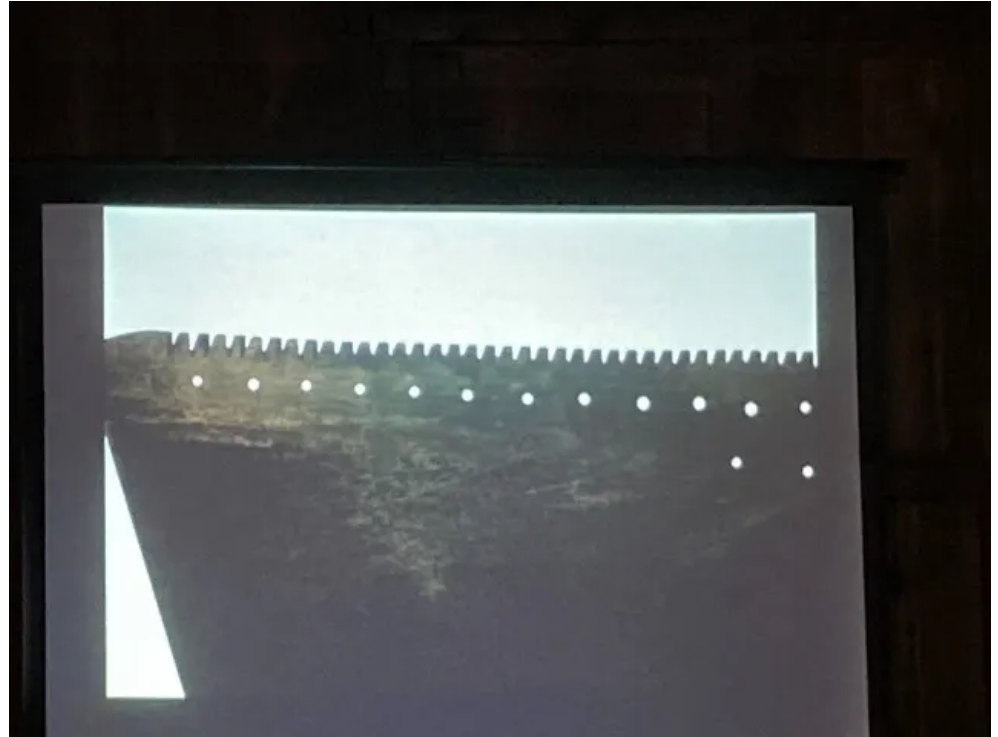
[最初はgoo](#)

[gooブログトップ](#)

[スタッフブログ](#)

竹は竹でも真竹（まだけ）を使用し「ひご」にして0.6mmまで細かく裂きま

す。0.6mmに裂く際に、1.5センチ四方の中に25本のひごが入るそうです。



ひごを作る時の道具です。0.6mmのひごを作ることが出来る方は、静岡県でお一人だけだそうです。



簾の長さがいる時は、0.6mm同士のひごをつなぐために、先端同士を0.3mmの半分にしてドン付きにして編むそうです。

すごい技ですね。

簾は100年以上使っても竹は腐らないそうです。ただ編む際に使う絹糸は痛

むので、

簾を編み直すのに100万円程度するそうです。

漉く紙によっては、ミツマタを原料に箔合紙（はくあいし）という高級和紙として金箔を挟むのに使われます。



金箔を扱う様子です。箔合紙で金箔を挟んでいます。ちなみに金4グラムを金箔にすると畳1帖になるそうです。

金箔の話から、仏壇に使われる金箔を接着する漆の話になりましたm(_ _)m

漆は、木を金属でコーティングする際に使用される最高級品の接着剤です。金箔でコーティングした直後に真綿（絹）で拭く事で傷つきません。

その漆を採取する様子の写真も、お話会で投影されていました。



木の元の方から専用の道具で漆の木を削り、血液のように漆の液体を流します。8月が1番採取できる量が多いそうです。

それでも年間100Kg採取するのが精一杯だそうです。漆の木を削っても採取できるのは耳かき1杯程度だそうです。道のりが長いですね（；ー_ー）

11月には漆の木を切り倒し、また萌芽更新で15年後には、写真のような大きさまで木が成長します。

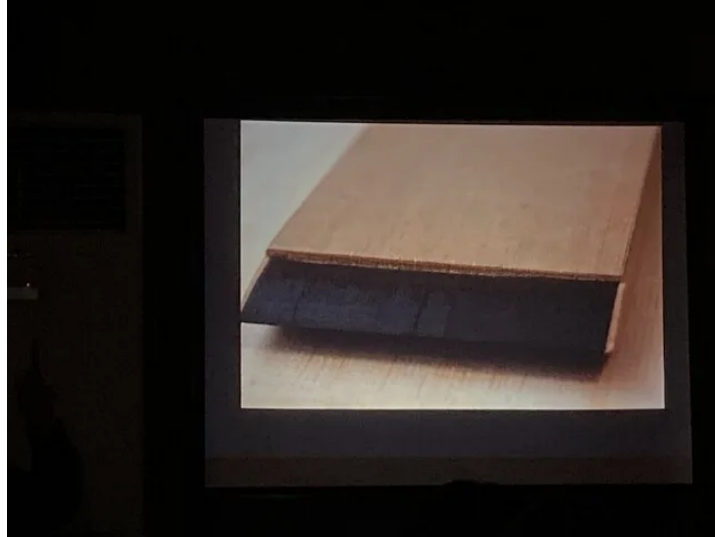
漆のシェアについては、現在は国内では5%のみで、95%は中国産です。

国内の5%ですが、ほとんどが現在、日光東照宮で使われているため、市中に回ることはないそうです。

漆の精製は京都で行われているそうです。毎年採取する漆の品質が粘りや色など異なるため、精製も職人技の様です。

精製された漆が使われるのは日光東照宮など、何百年も多くの方が訪れる建物等に使用されるため、見られるという意識がとても高いようです。

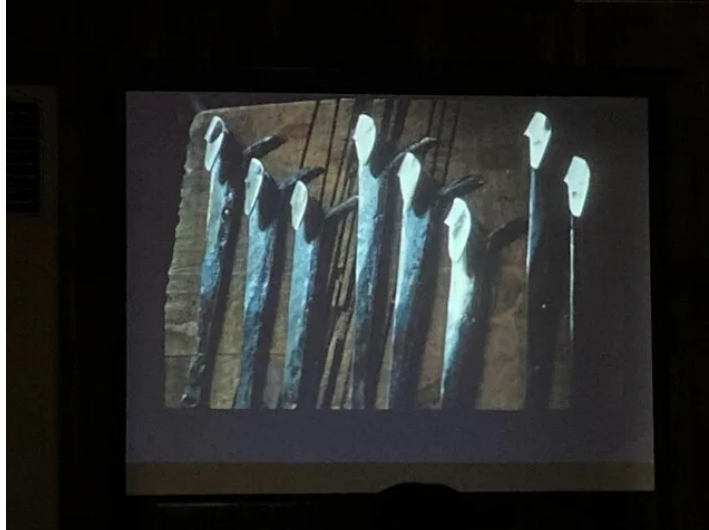
そりゃ、そうですね。日本の歴史・文化を支え、日本のイメージにも影響を与えるほどですね。



漆を塗る刷毛です。塗るというより漆を埋め込む感覚だそうです。なぜなら、長期間50年は持つようにという目的なので、埋め込むという感覚になります。

塗る刷毛の製造は、埼玉県におひとりだけいらっしゃいます。刷毛は人の髪の毛です。女性が多いそうです、本来は男性の髪の毛の方がよいそうです。

写真の通り、10年間はほったらかしに蔵で保管されてから、刷毛に使用するそうです。



漆は石ぐらいに硬くなり、硬化させます。特に梅雨時期の湿気がある時が硬化できるようです。

漆鉋（うるしかんな）、または漆掻き鉋（うるしかきかんな）で、漆の木を削ります。

この道具も、福島県いわき市に1人しかいらっしゃらず、しかも1年に1本使い切る道具です（すぐ研磨・研がないと使えないのでしょうかね）。

（包丁の鍛冶屋さんで60才位の方だそうですね）。

研磨する際の炭、研磨炭というのがあるそうです。これも福井県で1件だけだそうです。

職人さんものづくりも、絶滅危惧種ですね。

結構な分量になりました(/(/ω\)) 次回は、灯芯（とうしん）と真綿のお話が出来ればと思います。

今回も、最後までご覧いただき、ありがとうございました。

#和ろうそく #蠟 #和紙 #芯 #つどい

コメント



« 「和ろうそくは、つなぐ」お... | トップ | 【毎月第4土曜日】茶吉庵にて... »

このブログの人気記事

地域食堂「おかえり処 お結びころりん」

ご案内：【2/24（金）開催】ウクライナ支援コンサ...

【1/29（日）開催】河内音頭の基本の踊り【河内銀...

『まちづくりは人づくり』その3拍子とは？～第2回...